

# 水際最前線で日本の安全・安心を守る



私は羽田税関支署旅具通関部門に所属し、主に入国旅客・乗組員の携帯品検査と、それに伴う徴税業務を行っています。旅具通関部門は、覚醒剤等の不正薬物等（いわゆる社会悪物品）の密輸出入の取締り、適正かつ公平な関税等の徴収という業務を担い、水際最前線で日本の安全・安心を守る重要な部門です。

羽田空港では、社会悪物品等の密輸の隠匿手口が巧妙化する一方、昨今のインバウンド需要の高まり等により入国旅客数が日々増加しています。そのため、適正かつ迅速な通関を行う中で、密輸リスクの高い旅客に対しては徹底的に検査を実施する必要があります、非常にメリハリを求められる業務です。



令和6年度採用  
一般職大卒（行政）  
羽田税関支署 旅具通関部門

## 税関を目指した理由

空港の旅具通関のように、安全・安心な社会の実現を水際最前線で守るという責任ある仕事ができる点に魅力を感じました。また、通関や事後調査といった適正かつ公平な関税等の徴収に関わる業務、システムや関税技術協力といった貿易の円滑化に関わる業務など、税関には非常に幅広い業務があります。加えて、研修制度も充実していることから、様々な分野に挑戦し続けることができ、常に刺激に満ちているのではないかという期待感もあったため税関を志望しました。

現在の旅具通関部門で経験を積んだ上で、安全・安心な社会の実現のために他の業務分野にも積極的に挑戦していくとともに、将来的には関税技術協力等の国際的な協力体制の強化に携われるような職員を目指したいと考えています。

## 仕事をしていて大変だったこと、 うれしかったこと

うれしかったことは、密輸の摘発ができたことです。摘発の際は、直ちに報告書を作成する必要があり、初めてのことでとても緊張しましたが、上司や同僚にアドバイスをもらいながら、無事に完成させることができました。書類が完成すると、安全・安心な社会の実現に貢献できたという実感が湧くと共に大きな達成感を得ることができました。





## 休日の過ごし方

休日は旅行に行ったり、イベントに参加したりとアクティブに行動しており、当直勤務明けと休日を利用し遠方へ旅行したりもしています。年次休暇も取得しやすく、プライベートを充実させやすい職場だと感じています。



## とある1日のスケジュール

- 13:00 勤務開始  
ミーティングや班内研修を行う
- 14:00 検査機器を用いながら  
旅客の携帯品検査を行う
- 18:45 食事休憩後、引き続き  
携帯品検査を行う
- 02:00 仮眠時間
- 06:00 起床し、再び検査機器を  
用いながら旅客の携帯品  
検査を行う
- 11:00 解散ミーティングを行い、  
勤務終了



常に緊張感をもって、最後の砦として日本の玄関口を守っているワン！

## 職場の雰囲気

旅具通関部門は、班単位での仕事でありチームワークが欠かせません。また、若手職員が多く在籍しているため、比較的年齢の近い同僚も多く、当直勤務明けには、皆で食事をするなど、仲の良い和気あいあいとした雰囲気です。

## 税関職員を目指す人へ一言



旅具通関部門をはじめ、税関には、安全・安心な社会の実現を使命とする様々な部署があります。皆さんも税関職員として水際の最前線で日本の安全・安心な社会を守りませんか。皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています。